



## 旅にでる

### Contents

- 01P  
当院のデイケア旅行のご紹介
- 03P  
デイケア旅行からの Challenge
- 05P  
座談会「デイケア旅行とは何か」

### 人生とは旅 新しい時代を前に

平成30年も残りわずかとなりました。来年は「平成」から新しい年号に変わり、新しい時代の幕開けです。新しい年、新たなスタートはもう目前です。

松尾芭蕉は、「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」と書いています。ようするに『人生とは旅だ』と解釈します。異

なる文化に触れ、新たな出会いの機会となる旅とは、生き方を豊かにする活動の1つと言えるでしょう。からだの不自由があると旅に出れないか、そんなことはありません。障がいのある方を英語で Challenged (チャレンジド) といいます。さあ、新しい時代!新しい Challengeをしてみませんか?



# 当院のデイケア旅行のご紹介

H30年6月2日~3日開催



## やりたいこと、挑戦しよう!

### 力強く挑戦する

みんなで行けば恐くない!  
ひとりで難しければみんなで挑む!

デイケアスタッフに加え、当法人スタッフも応援に来ます! 移動、段差やトイレ、大浴場での入浴も特に問題になりません。できる部分はがんばっていただき、難しい部分は精一杯お手伝いをします。



大型バスから降りる様子

さあ!  
観光地を  
散策だ!

### デイケア旅行とは

たとえ身体に障がいを抱えても「旅行に行ける、人生を楽しむことができる」、そんな風にも感じてほしい。当法人で約20年継続して行っている活動です。

### 優しく語らう

#### 仲間と語り、繋がる!

旅は、新しい出会い・喜び・楽しみ・発見がありますね。五感を共有し、旅する仲間と語らうのも旅の醍醐味です。これまでの人生やこれからの目標など、想いを語り合う、人との繋がりの大切さを感じます。



島原湾を一望できる展望台で過ごすひととき



食事を囲み談笑する利用者様とスタッフ



観光地で  
お土産を買って  
バシヤリ!

### 楽しい時間を共有する

#### みんなで楽しむ大宴会!

日中は観光スポット巡り、夜の宴会は盛大に行われます。大切な人へお土産を買い、宴会では大笑い! 楽しそうな笑顔を見られると、スタッフも幸せな気持ちになります。



宴会での利用者様による合唱

「旅行に来てよかった!」

「もう少し歩けるともっといいね。」

「明日からまたリハビリがんばろう!」

前向きな感想を持たれる方が多いです。





## デイケア旅行に参加され、 再び夫婦旅行に行くことができた 香月末光様ご夫婦のご紹介



香月さんプロフィール Profile

「自分に厳しく、人に優しく」をモットーに「昨日より今日、今日より明日。前に行く精神が大事」といつも周囲に話すほどのスポーツマン。社会人になってから始めたボディービルディングでは、全日本選手権60歳以上の部7連覇、70歳以上の部でも優勝。その他にもラグビースクールや小倉祇園の団体を立ち上げ、地域活動やチャリティー活動にも積極的に取り組まれていた。H24年に脳梗塞を発症。約6ヶ月のリハビリを経て自宅退院される。  
現在、通所リハビリ・通所介護・訪問リハビリなどのサービスや、家族・友人と共に力を合わせて楽しく生活を送っている。

### Check! きっかけは“デイケア旅行”

香月さんは脳梗塞になり片麻痺と失語症が残存、車椅子での生活再開となる。「自宅で生活するのが精一杯で二人で旅行なんて無理だと思っていました」と奥様。そんな時に当院デイケアのスタッフがデイケア旅行に誘い、「スタッフの方が付いて頂けるなら安心できる」と平成25年に初めて旅行に参加される。



### Check! ご夫婦のデイケア旅行での感想

主人はバスに乗れるかなどの不安がいっぱいでしたが、久しぶりに夫婦揃ってお洒落をしての旅行、元気だった頃の**前向きな主人の姿**がそこにありました。そんな主人の姿をみていたら「**どうせ生きるなら、楽しいことをした方がいいのではないか**」と**思**えて、この先どう暮らしていこうか…と思っていた私の気持ちが少し楽になりました。

香月夫人より

### Check! 再び夫婦だけで旅行にチャレンジ

デイケアに参加して以降、徐々に遠出もしてみようかと思えるようになりました。

電車を乗り継ぎ門司港レトロへ



新幹線に乗って広島に日帰り旅行へ



脳梗塞を発症して約5年…

飛行機に乗り沖縄旅行へ

なんと2泊3日です!

次は船に乗って旅行に行きたいと思っています!

ご夫婦二人のちからで、再び旅行に行くことができたこと、お二人の challenge にとっても感動しました。デイケア旅行は、そんな“活動的なくらし”、しかし“普通にくらし”に向けたお手伝い、きっかけ作りに一役かっているのではないのでしょうか。Challengeで人は変わります。いい旅でひとの人生は豊かになります。些細な小さなことであっても、挑戦のきっかけを見つけていく…そんな日々を私たちも応援していきたいと感じています。

取材：言語聴覚士 井上 医療相談員 尾口



# 旅で、人は、いきいきと元気になる。

## Discussion

当法人のデイケア旅行に関連の深い4名のキーパーソンに集まっていただき、デイケア旅行について語っていただきました！



伸寿苑デイケア  
理学療法士 課長補佐  
小川 彰



フィットネスデイケア  
介護係長  
吉川 利香

## 座談会 「デイケア旅行とは何か」

H30年9月13日

### Discussion1

#### デイケア旅行にかける想い

司 会 デイケアの一大イベントである「デイケア旅行」をどんな想いで企画・運営していますか？

小 川 デイケア旅行は今年で19回目を迎えました。当初から企画・運営の一部を利用者にも携わってもらっています。

司 会 利用者にも大いに出番（役割）があるということですね。

小 川 社会的な役割があることで、利用者の社会参加に繋がるのではないかと考えています。単発的な、いわゆる「イベント」ではなく、法人の想いを継承した、継続的で伝統のある活動だと思っています。旅行中の「楽しい・ドキドキする」といった感情が、明日への活力となり、その人らしい暮らしを支援することに繋がると信じています。

### Discussion2

#### デイケア旅行で変化すること

司 会 旅行に参加して、変化することはありますか？

吉 川 そうですね。利用者の変化、スタッフの変化。大きく2つの変化があります。

小 川 旅行前から楽しみの余り普段よりもリハビリに気合いが入る方も多いです。

司 会 旅行をきっかけにその人の生活が変わるということですね。

吉 川 何より、旅行を楽しんでもらうことで、その方の生きる自信にも繋がるのだと思います。旅行に携わるスタッフは利用者の嬉しそうな表情や、前向きな発言に、達成感ややりがいを感じ、感動をもらえます。スタッフの感性や知識・経験も向上していく旅行だと思っています。

### Discussion3

#### デイケア旅行 その生みの親に聴く「旅の意義」

浜 村 30年以上前から障がいを抱える方々と旅をした経験から、旅行はどんなリハビリテーションより効果があると思っています。一方で旅行中の利用者への安全の配慮も大切ですね。医師を3名以上同伴して実施することも当初から継続しています。誰も病気や障がいを抱えると旅行へ行くことへ不安や迷いが生じてしまう。だからこそその制限をなくして「当たり前」のくらしや活動・生活行為がもう一度できるように支援することは、非常に大切なことで、継続していく意味があるのです。つまり、共和会の想いと共感したいものが、たくさん詰まって、形になったモノがデイケア旅行なんです。

### Discussion4

#### どうなる!? これからのデイケア旅行

浜 村 林さん、ずばり今後のデイケア旅行は、どう企画・運営していきますか？

林 そうですね、やはり利用者にとってより“楽しく”満足していただける旅にしていきます。

浜 村 一方で、バリアフリーの環境で、且つ50名以上の利用者が宿泊できる施設はなかなか探すのが難しいですね。行き先がやや限定的であることも課題となりそうですね。

林 一見、バリアが多い場所でも人手や技術があれば解決できる事も多いです。“できない”ではなく“どうしたらできるか”をいつも考えています。



小倉リハビリテーション病院  
名誉院長 医師  
浜村 明徳



伸寿苑デイケア  
デイケア旅行 実行委員長  
作業療法士  
林 泰章

司会：かけはし製作委員  
大島 昂士







# KR KYOUWAKAI



**KR 医療法人 共和会** 小倉リハビリテーション病院 / 介護老人保健施設 仲寿苑 / 共和会地域リハビリテーションセンター

〒803-0861 福岡県北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1

TEL 代表 093-581-0668 FAX 共通 093-581-3319

ホームページ <http://www.kyouwakai.net> 共和会